

第6回 仙北市政策検証市民委員会 次第

日時：平成24年7月19日（木）
13：30～
場所：仙北市役所田沢湖庁舎
第1会議室

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 副市長あいさつ
4. 案 件
 - ①第5回委員会での決定事項の確認
 - ②分野別政策検証
 - I 「4年間で所得10%以上増やします」（約束2）
アクションプラン 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 14
 - ③次回委員会の日程と検証対象の確認
5. 閉 会

第5回仙北市政策検証市民委員会の決定事項

- 日 時 平成24年7月6日（金） 13時30分～16時40分
- 会 場 仙北市役所田沢湖庁舎 第1会議室
- 出席者 委 員 牧田委員長・佐々木委員・堺委員・草薨委員・田口委員・佐藤委員
橋本委員・西村委員・藤村委員 9名
- 市 倉橋総務部長・佐藤総務部次長兼企画政策課長
田中総務部次長兼財政課長・運藤総務課長・高橋総合産業研究所長
大山所長補佐・高階総合情報センター館長・田口電算システム係長
富岡教育委員会文化財課長
- 事務局 企画政策課 戸澤参事・大澤政策推進係長・武藤主任 12名
- 欠席委員 大和田副委員長

【決定事項】

1. 新たな委員長に牧田委員を任命することに決定した。副委員長は引き続き大和田委員とする。
2. 次回の第6回委員会は、7月19日（木）午後1時30分から田沢湖庁舎とする。
検証テーマ
約束②「4年間で所得10%以上増やします」
アクションプラン 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 13 全8項目

仙北市政策検証市民委員会 検証結果一覧

約束⑤「徹底的な行財政改革を断行します」 平成24年7月6日委員会

アクションプラン28【民間からの任期付き職員採用】

委員名	評点	コメント
草薨委員	なし	良いにつけ悪いにつけきちんとするものはきちんとしていかなければ、いつもこのようなずるずるの問題では大変なことではないかと思う。一番困るのは市民である。
橋本委員	2.5	1人あたり66万2千5百円という1か月の給与からすれば、成果が見えてこない。
西村委員	3	民間のノウハウを活用する気持ちもわかる。職員が他市より1.5倍いる割には結局知恵がないから他から知恵を借りる、この後研究成果が発表されて、それが高いか安いかはみんなの評価に任せるにしても、外から教えを乞う、臨時に知恵袋を借りるとするのは安くはないのは当たり前である。途中で投げ出すような人を人選してしまったこと、総務部長が慰留に努めたが止めた理由が一身上の都合というのは、本来であれば任命して給料を払った人はしっかりとしたことを聞くべきである。そこまでやれないから甘いと言われる。もう少し徹底してやるべきだった。
藤村委員	2	認定農業者協議会としては付き合わせてもらっていた。高給過ぎる点、1名に関しては非常に頑張ってくれたと評価したいが、もう1名は上に気を使いながらその政策が出来なかったのではないか。
佐藤委員	2	職員採用の金額が高く驚いたが、それなりの結果を残していれば全く問題ない。この仕組み自体も素晴らしい仕組みだと思う。それだけに途中で1名退職してしまったこと、採用する時の色々なチェック等が少し曖昧で甘い部分があったと思う。成功報酬や出来高制等色々なやり方があったと思う。
田口委員	2.5	行政改革なのかそれとも商品開発なのかというところが判然としないので評価しにくい。商品開発だとすればそれなりに成果をあげたと思う。1人が1年で辞めているので期間が短くなってしまっているのは減点。
堺委員	2	この政策は門脇市政の最大の目玉商品の分野に入っており、この2名の方に関しては目玉商品だった。結果的にはほとんど成果を出せずにそのまま市を去ってしまい、今の総合産業研究所には民間の出向者は誰もいない。今後どのようにしてやっていくかに暗雲が漂っていると感じる。1名に関しては人選ミスであったし、二重社員の問題に関してしっかりと調査していただきたい。
佐々木委員	2.5	食育に関して給食センターの一本化は市の職員でもすぐに出来るはずでそういう発想が出来て当たり前だと思う。民間のノウハウを活かすというのは非常に大事なこと。頭の中で思っただけでなく全体を見てやるという意欲は買うということで、一つはかなりレベルが高く発想は良い。しかし中身については任期付きで途中で辞めるということは放棄することでもある。
牧田委員長	2.5	民間でもそうだが、その企業にとって将来どう役に立っていくかということでの人材の登用・採用についてはかなり厳密にやると思う。あとの計画にどう活かして仙北市の経営に役立っていくかということも考えられるような人材、是非今回の教訓をしっかりとお互いに考えて、次のアクションプラン5の時に必要な回答、皆さんから出された意見についてのこれからの改善点を表明していただきたい。

※平均点 2.375

アクションプラン 2.9 【物品調達・業務委託の市内発注制度の新設】

平成24年7月6日委員会

委員名	評点	コメント
草薨委員	2.5	一般市民が業務委託を見た場合にああそうかというようなところまで見えるようであれば評価は高くするが、まだそれが見えて来ないので見えるように努力していただければ大変ありがたいと思う。
橋本委員	3	業種によって今現在どうなっているのかを見極めながら発注していかないと、ただ誰も申し込まないとか簡単にあまりにも高いからダメだとかそうではなくもう少し見てもらいたいと思う。
西村委員	3	事務方がもう1度精査したほうが良くないか。立ち入れない場所と立ち入れる場所、早々に出来るところが色々あると思うが、それをやらないから今までおかしくなっている。もう1回細かいところまで発注業務に携わるそれぞれの担当の職員に工夫してもらえれば良いと思う。さらに一層の努力を要する。
藤村委員	4	一般が90%以上指名入札、あと22年度から23年度まで若干上がっているということ、市内業者の育成については具体的でないのもう少し頑張ってもらいたい。
佐藤委員	3	やるべき方向は見えているのと、結果もわずかながら出て来ているので今後精査してもらってやっていただきたい。
田口委員	2.5	達成目標が90%なので上半期2年間であれば80%ぐらいまで上がっていないといけないと思う。不透明な部分もある、制度的に整えていかなければいけないものがあると思う。
堺委員	4	土建業の方々も角館も業者数がだいぶ少なくなり、地元落ちるような工事で一杯仕事をとってくれればうれしいというのが正直なところ。色々な点については皆さんと相談しながら更に地域発注を強化していただきたい。
佐々木委員	3	新しい業者もいないし、競争する大仙市とか秋田市とかと比べて仙北市が偏っている市だと言え。地元の業者だけしかやらないのではなくて、参考的に最低入札はこのくらいだというような、そこで間に合うくらいの範囲で最低入札を提案したらどうか、高く買う必要もないが最低でこれくらいの利益は少しあるということで業者に発注出来るようなシステムを作ってもらえれば良いのではないか。
牧田委員長	3	だいぶ努力はされているし数字として表れている。ちりも積もれば何とかやらでそういう努力も大事だと思う。

※平均点 3.11

アクションプラン30【全市高速ブロードバンド化事業】 平成24年7月6日委員会

委員名	評点	コメント
草薨委員	3	なし
橋本委員	3	個々の情報の徹底、どのようにして使うんだということで初めて良かったなと思う。個別的な指導をこれからどのようにしていくか、集落単位なのか団体でいくかが課題となる。
西村委員	3	実際に穴を掘ってケーブルを埋めるのが地元の業者だったとすれば雇用というか経済的にも潤ったのだろう。こういう時代だから田舎だから遅れないようにやるという考え方は良いことだと思う。
藤村委員	3	25年度目標70%に対して24年度でもう74%に達しているので目標は充分クリア出来ていると思うし、あとは全市、隣部落が入っていて隣が入っていないとか複雑な状況があるので早めに全市出来るように対応をお願いしたい。
佐藤委員	3	この事業自体は過疎地域にとって生活するうえでは非常に大事な情報の収集源、情報発信のネタでもあるし、防災とか色々な意味合いで非常に重要なものである。それでそれが全市民に平等に与えられるということはすごく大事なことだと思うのでこの取り組み自体非常に素晴らしいことだと思う。進捗率も順調だが利用率が低いのが若干気になる。
田口委員	5	金額は大きいけど3割負担でかつ貸与費が入ってくるということなのでかなり回収出来ると思う。光ファイバーを引くこと自体は悪いことではなく良いことであり、あまりお金もかからないということであればこの進捗なので、取り組みを実践し具体的な成果が表れていると評価したい。
堺委員	4	もう少し粘り強く交渉してギリギリまでNTTにやってもらわなければならない必要があったのではないかと。自前で持ったことはメンテナンスも含めて全て費用が仙北市にかかってくる訳なので、交渉しながらやっていくと経費的な問題でも色々な点でも有利だったのではないかと。基本的な考え方は全然OKだが、せっきくの光ケーブルを利用するためにどうするかというソフト事業をしっかりと組み立てていかなければいけないので、防災は防災で関係ないという考えではなくきっちりやっていたかかないとダメだと思う。利用率が低いのは地域的に仕方がない。
佐々木委員	3.5	特に田沢湖高原は光があることによって観光客に好評だとの話も聞いている。しかし、これからどうするのかという先行きのまだ課題が残っている。
牧田委員長	3	良いことには違いないが啓蒙が課題である。これをどう有効に使うか、出来るだけ多くの人達が講習も含めて努力次第でもっともっと普及させられるという課題に取り組んでもらいたい。

※平均点 3.38

委員名	評点	コメント
草薨委員	2	姿勢として表題によるものをしっかり検証し、我々は何をしていくべきか何をさせるべきかということをしちんとしたかたちの中で取り組んでもらいたい。色々なところに金はかけているが、重要な文化財でありながらも陽の当たらない文化財があるので良く精査して、色々な方々も団体もあるのでそちらのご意見も踏襲しながら進めていくようにしなければならない。ただやっていますではなくてこれからはきちんとした組み方をしていただきたい。
橋本委員	3	地域に残っている色々な文化、ただ地域にばかり任せないでこちらから出向いて行って、ただある団体に任せているだけでなく行政として掘り下げていくべきではないか。
西村委員	4	芸術文化はわらび座だけでなく突発的なことや色々なことをやることによって人は交流する。食材も売れるし色々な経済交流がある、スポーツや文化もそうだし、それで飯を食っている町もあるぐらい、かなりの活性化になっている部分もある。これから市が、芸術・文化・体育の色々なイベントをやることによって、仙北市は特に宿泊その他の受け入れ態勢のできるまちなので、力を入れて企画力のある人、民間と一緒にやってやれるような人材を養成してもらいたい。特に人を集めて賑やかに色々なことをやるのがこの地域の一つの特徴だと思う。これからも一緒に色々なことに各種団体と取り組みながら、市側としては積極的にそれにご協力いただければ企画も含めてやっていただきたい。
藤村委員	3	もっと積極的に市の参入というか関連の各種団体との会話を進めながら積極的に進めてほしい
佐藤委員	3	わらび座を中心として、伝統的建造物等も含めて今まであるものは有効に活用しているという感じはする。非常に難しいことだが新歳入の可能性を探るということはこれからの期待したい。
田口委員	1.5	やった実績としては、市が中心となってやった訳ではなく他のまちづくりの団体が主体的にやったものが多い。市としてどういう戦略を持って芸術文化を使って所得を上げていくのかという戦略、まだ検討していないこれからということなので、必要な取り組みにまだ着手出来ていないということかなと思う。
堺委員	3	他の団体がやったものに相乗りしている傾向が非常に強い。市は何をやったのかという話しになる訳で、それに対して具体的な助成をどうするかたちでやったのが心もとない。本格的に企画政策課がリーダーとなってやるのであればもっとしっかりやっていただきたい。総体的に芸術文化関係は一杯のグループに別れてしまっているの、それを統合して一つの大きな流れにするためにどうするかをどういう枠の中で決めていくのかをこの期間の間にしていければ、音楽祭とか様々なものをやらなくても、それぞれ予算が足りなくて民間に寄附に回るというパターンが多くなっているの、是非改善していただきたい。
佐々木委員	2	わらび座が中心になっておんぶにだっこ、あるいは角館の中のまちづくり関係の方々が中心となってやって、全体的に盛り上げて文化庁長官表彰を受けた訳だが、実際はこの4年間で所得10%以上増やすという命題があり、新歳入を増やすという前提からすればやっていることはわかるが、市単独で将来的にこういうことをやりますというものが全然見えない。所得10%をどう増やすかが何もない。
牧田委員長	2	そういう文言が入るからにはそれなりの検討とやる方針と具体性ということで、このためにどういう人達を集めてどうするのかというところまで突っ込んで初めて新歳入はどうだという課題も出てくる。部分的には大きな実践はあるが全体として課題が一杯ある。

アクションプラン14【新エネルギー・新素材産業への進出】 平成24年7月6日委員会

委員名	評点	コメント
草薨委員	1	なし
橋本委員	2	チェック体制が一番ぬるかったということだと思う。チップはしっかり乾燥されたものが来れば良いが何でも出せば良いで、チェック体制が原因だったと思う。
西村委員	1	バイオマス施設はこの教訓を生かすこと。新しいもの好きで飛びつければいいものではない。普通のそろばん勘定からすれば1日も早く止めればいい。止める決断そういう勇気が役所の人はない。1回やってしまうと何とかしなければならぬということ、それがずるずるとこれから20年とか補助金をもらったから何とかしなければならぬということ、それが命取りになる。
藤村委員	2	木質バイオマスでチップとか関連したものは使えるということは良い。例えばもみ殻とかそういう可能性についても検討してもらいたい。
佐藤委員	2.5	進捗状況としてはかなり厳しい。グリーン産業の育成はこれでご時勢で不可欠な部分があるので、これからかなり頑張ってもらいたい。
田口委員	1	所得を向上させるためにこの新エネルギー・新素材産業に参入する業者を育成するというのが目的なので、そこは出来ていないし着手も出来ていない。
堺委員	2	太陽光という希望的観測はあるが、あくまでも過去の実績に対してなので修繕して稼働させたということを考慮しての評価。
佐々木委員	1	なし
牧田委員長	1	バイオマス施設に関しては、この教訓を絶対大事にしてもらわないと大きな損失になる。

※平均点 1.5

総合産業研究所取組実績及び成果等

区分	取組実績及び成果
麵恋こまち (商品開発支援)	○開発当初、アロマ田沢湖・むらっこ物産館・アルパこまくさで提供していたが、揚麺のため長期保存で酸化することから現在提供施設なし。 ○現在、神代カレーへの使用を検討中。
真空パック米 (商品開発支援)	○森の駅、土産物店等での販売。包装に対するクレームや、商業ベース、アルファームの需要拡大から平成23年産米から販売中止。
ルバーブジャム (商品開発支援)	○秋田大学生とアロマ田沢湖の産学連携で栽培・製造し商品提案終了。アロマ田沢湖でジャムと洋菓子の商品化中。
薯蕷麵 (商品開発支援)	○文献等を参考に試作及び商標登録済みであるが、材料単価が商業ベースになりえなく開発を断念する。
仙北ピュア (商品開発支援)	○仙北市商工会の地域ブランド推進委員会が主となり開発し販売中。
雲然柿漬け (商品開発支援)	○商品開発段階への助言。 ○商標登録済み。柿漬け・いぶり柿漬けを生産、花葉館・個人・上板とれたて村・給食センターに販売。
枝豆コロッケ (商品開発支援)	○材料調達情報提供等、平成23年度はイオン系列で販売。
田沢湖冷麵 (商品開発支援)	○地元産小麦の使用を推奨。 ○平成24年度からタカヤナギ系列で販売中。
比内鶏ラーメン (商品開発支援)	○地元産小麦の使用を推奨。 ○平成24年度から直接販売、今後販路拡大。
かくのだてバーガー (商品開発支援)	○地元産小麦の使用を推奨。現在販売中。
花豆菓子 (商品開発支援)	○角館菓子組合に地元産花豆を使用した試作を依頼（3社 9品） ○現在、マーケティング中
野菜ペースト (商品開発支援)	ほうれんそう、にんじん、かぼちゃの生産者情報提供
カット冷凍野菜 (商品開発支援)	ほうれんそうの生産者情報提供
マッチング支援	○県学校給食会への食材提供（冷凍かぼちゃ、加工じゃがいも、冷凍枝豆） ・㈱アルク、ORAE、北浦郷 ○その他（冷凍ほうれん草、アケビ、山の芋） ・エコの素、坂本バイオ、愛仙にじ、㈱春秋

区分	取組実績及び成果
販売促進イベント参加	<p>○県外 東京 東北復興支援チャリティ物販フェア 仙台 マルシェ・ジャポン in 仙台港 東京 上板南口銀座商店街特産品PR & 朝市 東京 うえの夏まつり ～東日本復興支援納涼大会～ 川越 川越産業博覧会 東京 ”食農観”まるごとフェア 東京 イトコカードーあきたフェア 東京 秋田県南観光PRと物産展 東京 かまくら点灯イベント in 有楽町 東京 食・健康・ふるさと自慢 in 国営昭和記念公園 東京 田沢湖・角館・大曲・美郷地域 春の”食・農・観”芽吹き市</p> <p>○県内 秋田 秋田県庁地下物販秋田 秋田 仲小路商店街 なかの日フェア 秋田 竿燈まつり 仙北 秋田内陸線「ごっつお列車」</p>
アンテナショップ開設 (販路開拓)	<p>○平成22年10月 文京区本郷に「アンテナショップ本郷店」を開設 ○平成22年12月 台東区浅草に「アンテナショップ浅草店」を開設 ○平成23年1月 台東区秋葉原に「アンテナショップ秋葉原店」を開設</p>
Eビジネス (販路開拓)	<p>○ネットショップ「秋田せんぼく本舗」開設 ○平成23年度末 10品 57,872円販売</p>
雪下野菜試験圃設置 (新規振興作物振興)	<p>市場ニーズにマッチした振興作物 ○雪下野菜きゃべつ、にんじん、粟田かぶ 平成23年度23a</p>
高冷地野菜試験圃設置 (新規振興作物振興)	<p>気候条件を活かした振興作物 ○ブナ森高冷地野菜として、大根、レタス他 平成23年度10a</p>
花豆試験圃設置 (新規振興作物振興)	<p>加工を前提とした振興作物 ○平成23年度の作付面積10a ⇒平成24年度30a</p>
伝統・行事料理の伝承 (地域ネットワーク強化)	<p>○食育活動の一環として、伝統料理や行事食を次世代に繋げるため伝道師（「仙北ばあば」10名）を任命し伝承の体制作りを図る。 ○平成24年度、伝統食レシピ本「昭和な食卓」制作中。</p>
仙北市直売所連絡協議会設立 (地域ネットワーク強化)	<p>○平成23年7月27日に市内17直売所のうち14直売所が加入し協議会を設立。 ○平成23年度、直売所と飲食業等のマッチング交流会開催。</p>

総合産業研究所の非常勤特別職及び一般職任期付職員の活動について

平成 24 年 7 月 19 日
総合産業研究所

◆総合産業研究所長（非常勤の特別職の職員：法第 203 条の 2）

- (1)任 期 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
- (2)月額報酬 @180,000 円×12 月＝2,160,000 円
- (3)勤務時間 1 週間あたり 2 日前後、月 8 日程度 勤務実績 年 124 日（うち出張 19 日）
- (4)専門分野 ①農村社会学 ②アグリビジネス起業論 ③食文化と地域、地域生活論
- (5)技術相談に応じられる分野
①地域づくりに関する諸問題 ②G T 促進に関する問題
③農村女性・高齢者の自立に関する問題
- (6)22 年度活動実績
- ①過疎地域自立交付金事業申請
- ・事業年度 22 年度
 - ・事業費 10,000 千円（総務省補助）
22 年度総合産業研究所の活動費用の充当。
商品カタログの整備、E ビジネスシステム構築。
新商品「麺恋こまち」「無洗米」「切麦・じょよ麺」開発。
- ②地域雇用創造実現事業構想提案書の作成支援
- ・事業年度 平成 22 年 3 月～平成 25 年 3 月
 - ・事業費 52,358 千円（厚生労働省補助）
4 名の雇用確保。
自立的なビジネス展開に向けて地域産品の集荷・販売に関する経営能力の育成。
- ③「遠く離れても心は一つ仙北プロジェクト」支援
- ・事業年度 平成 22 年度
 - ・事業費 18,000 千円、23 年度 2,500 千円（農林水産省補助）
都市消費者との信頼関係を築きながらの新たな販路開拓。
本郷の真弓商店街「池田屋さん」⇒ 22 年 10 月開始。
秋葉原の商店会「日本百貨店」⇒ 23 年 1 月開始。
浅草の商店会「健康サロン佐藤」⇒ 23 年 1 月開始。

◆地域資源活用専門員（任期付職員：仙北市任期付職員の採用等に関する条例）

- (1)任 期 平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
（専門的な知識経験が必要とされる業務に従事させることが適任と認められる職員を部内で確保することが一定の期間困難である。）
- (2)給料月額 H22 @365,050 円×12 月＝4,380,600 円（職員処遇）
H23 @367,350 円×12 月＝4,408,200 円
- (3)勤務時間 職員処遇による。
- (4)専門分野 ①食育活動⇒ 学校給食食材地場産供給化、伝統食名人の組織化。
②商品開発事業多角化⇒ 直売所売上秋田県トップ、農家コンビニ立上げ。 .
- (5)技術相談に応じられる分野 ①食育活動⇒ 地域内体制づくり ②地域食文化形成（加工食品開発）
③農商工連携コーディネート
- (6)22 年度～23 年度活動実績
- ①食育活動
- ・学校給食食材供給体制づくり、地域食文化形成⇒伝統食名人の組織化、食育講習会実施。
 - ・学校給食地場産野菜供給率 H22 年度 27.3% ⇒ H23 年度 32.4%。
- ②商品開発
- ・麺恋こまち。
 - ・農商工連携⇒ 冷凍枝豆、さや剥き、無添加漬物加工技術の確立。
- ③地域内体制づくり
- ・直売所連絡協議会設立、学校給食食材供給体制の一元化。
 - ・異業種連携ネットワークづくり⇒ マッチング交流会の開催。

◆地域資源活用専門員（任期付職員：仙北市任期付職員の採用等に関する条例）

- (1)任 期 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
（専門的な知識経験が必要とされる業務に従事させることが適任と認められる職員を部内で確保することが一定の期間困難である。）
- (2)給料月額 @364,000 円×12 月=4,368,000 円（職員処遇）
- (3)勤務時間 職員処遇による。
- (4)専門分野 物産販売促進コンサルタント業務が主
①商品開発 ②販売促進調査・企画 ③イベント企画運営
④セールスプロモーション（メディア）
- (5)技術相談に応じられる分野
①商品開発（パッケージデザイン） ②販売促進調査・設計
③物販キャンペーン企画
- (6)22 年度活動実績
- ①首都圏における販路拡大
- ・本郷 真弓商店街「池田屋さん」のショップ開設
 - ・商店街との食を通じた交流会の企画、イベント実施
 - ・秋葉原の商店会「日本百貨店」に「野菜・工芸品」という新ビジネスモデルの創出
 - ・野菜売り場のディスプレイ
 - ・毎月 1 回の野菜市のイベント開催
- ②Eビジネスの運営・システム設計
- ・コンテンツの高度化、組織運営の立ち上げ（運営は「雇用創造実現チーム」に引継）
- ③角南とのコラボによる「麺恋こまち」ラベルデザイン制作